

「AIS・国際VHF機器展示・説明会」を小浜市で開催

～ 小浜湾周辺の漁業、レジャー船関係者約50名参加 ～



第八管区海上保安本部からの説明の様子

総務省北陸総合通信局（局長 濱島 秀夫）は、平成29年9月13日（水）、小浜市漁業協同組合で、小浜湾周辺の漁業・レジャー船関係者を対象とした「AIS・国際VHF機器展示・説明会」を開催し、約50名の参加がありました。

機器展示・説明会は、北陸情報通信協議会（会長 久和 進 北陸経済連合会会長）の共催、海上保安庁第八管区海上保安本部、福井県、小浜市漁業協同組合などの後援により実施したものです。開催は、昨年10月の石川県七尾市に続き2回目となります。

AIS（船舶自動識別装置）は、船舶の位置、針路、速度等の情報を自動的に送受信するシステムで、他船の針路を把握・予測することができます。また、国際VHF（船舶共通通信システム）は、全世界共通の無線電話で搭載している全ての船舶間で通信が可能となります。この識別装置及び通信装置を搭載することにより、船舶同士の衝突など、海難事故を防止することができます。

機器展示・説明会では、初めに、北陸総合通信局中野佳胤航空海上課長から、「AIS・国際VHFの有効性と普及状況」として、AIS及び国際VHFの概要、目的及び普及状況の説明を行いました。

次に、第八管区海上保安本部高野昌浩交通部長及び中野明弘安全対策調整官から、「船舶の事故防止」として、若狭湾周辺における船舶事故の多い時間帯や事故防止策について説明を行いました。

最後に、AIS、国際VHFの機器製造・販売メーカー担当者から、機器の性能及び特徴を順次説明しました。

参加者からは、AISや国際VHF使用時の大型船と小型船との通信距離が違う理由や、大型船はどの程度の距離からAIS設置小型船を認識できるのかなどの質問があり、関心の高さがうかがえました。

説明終了後、船主等関係者は各メーカーのブースにおいて、デモ表示レーダー画面を確認し、性能に関する質疑を行うなど、情報収集を行っていました。

北陸総合通信局では今後も、AIS及び国際VHFの普及に取り組んでまいります。



機器展示ブースの様子

お問い合わせ先：無線通信部航空海上課
076-233-4450